

令和6年度 特に効果のあった府立学校の取組一覧

(令和7年1月時点集計)

府立学校の業務改善等の取組について、令和6年度において特に効果が感じられた取組として提供された好事例を集約の上掲載

1 ICTの有効活用

○ 会議や情報共有の合理化

1	取組内容	グループウェア(※)を活用して事前に内容を共有することで、職員会議（朝礼）の時間短縮、開催回数の縮減につなげた。 ※Teams、Classi、スクリレ など
	効果 課題解決	- 会議の回数を減らすことで、始業準備に取り組む時間を確保でき、負担感の軽減につながった。 - 手間をかけずにリアルタイムの情報が発信できた。 - 都合のよい時に確認ができるようになった。
2	取組内容	グループウェア(※)を活用して、資料等をデータで共有した。 ※Teams など
	効果 課題解決	- 案件に応じて内容を掘り下げるなど、メリハリをつけることができた。 - いつでも確認できるため確実な情報共有が可能となった。 - ICTを活用することで、全校的に利活用の幅が広がった。 - 資料収集や印刷の時間を短縮することで、負担の軽減につながった。
3	取組内容	本校と分校の合同職員会議をオンライン開催することとした。 それぞれの部屋から職員会議に参加できるようにした。
	効果 課題解決	移動の時間が不要となり、スムーズに会議を進めることができたことで、教職員の負担感が軽減された。
4	取組内容	部長会議のレジューメに協議の必要性や必要時間を記載した。
	効果 課題解決	- 教員の意識が変化した。 - 必要性の高い議題を重点的に協議するなど、メリハリのある会議になった。
5	取組内容	Teamsの中に服務・出張アプリを作成し、各自のPCから服務関係等の届出を作成できるようにした。
	効果 課題解決	職員の動静が一覧で分かるようになり、出張報告書の提出漏れが減少した。
6	取組内容	校内研修会について、内容の録画をオンデマンド配信することとした。
	効果 課題解決	当日参加できなかった教員も内容を参考にすることができた。

○ 調査・集計等の合理化

1	取組内容	グループウェア(※1)を活用し、各種調査やアンケート(※2)を実施した。 ※1 Microsoft Forms、Classi、ロイロノート など ※2 学校評価アンケート、授業で使用する調査 など
	効果 課題解決	・集計に要する時間を大幅に短縮できた。 ・回収やグラフ化が短時間ででき、勤務時間の短縮につながった。 ・提出率・回答率が上がった。 ・紙の使用が減った。

○ 学習指導改善・保護者連絡等の合理化

1	取組内容	クラウドサービス等(※1)を活用して、生徒や保護者への配付物(※2)を配信した。 ※1 Classi、スタディサプリ、Cラーニング、tetoru など ※2 緊急を要する連絡、保護者向け行事の案内・申込 など
	効果 課題解決	・年間を通じて、印刷、仕分け、配付にかかる時間が大幅に減少した。 ・保護者連絡にかかるタイムラグが縮小し、タイムリーな連絡が可能になった。 ・メッセージを送ることで、連絡が取れない場合も内容を伝えることができた。

2	取組内容	毎朝の保護者からの出欠連絡について、連絡用アプリ等(※)を活用した。 ※Forms、さくら連絡網 など
	効果 課題解決	・電話対応のため時差出勤する必要がなくなった。 ・電話でのやり取りが大幅に減少し、落ち着いて始業できるようになった。 ・保護者の負担も軽減された。

3	取組内容	保護者との連絡のため、iPadの持ち帰りにより、Teamsを活用した電子連絡帳を導入した。
	効果 課題解決	指導時間ではなく、生徒下校後の放課後等に入力が可能となったため、時間に余裕ができた。

2 行事の工夫・改善等

1	取組内容	事業の実施に係る宿泊を伴う教育活動をやめた。
	効果 課題解決	・教員の負担を軽減でき、勤務時間の適正化が図れた。 ・保護者の経費負担軽減につながった。

2	取組内容	体育祭（体育大会）を1学期に実施した。
	効果 課題解決	・行事の時期を分散させることで準備に係る負担を軽減できた。 ・熱中症リスクの改善につながった。

3	取組内容	学校行事について、内容も含めて生徒主体で運営する方針に変更した。
	効果 課題解決	・生徒が学校運営に参画することで、大きな教育効果があった。 ・教員の運営負担軽減につながった。

3 部活動の運営改善

1	取組内容	高等部以外の教員も顧問として配置した。（全校体制をとった。）
	効果 課題解決	- 顧問のローテーションが可能となり、負担軽減につながった。 - 他学部の教員が高等部の生徒を知る機会となった。

4 その他

○ 下校

1	取組内容	放課後の下校指導として当番制を組んでいたが、毎日下校を促す放送を流すことで、当番制を廃止した。
	効果 課題解決	下校時間まで勤務を拘束することで教員の負担となっていたが、勤務時間内の自由度が増した。

○ 勤務時間への意識

1	取組内容	勤務時間に対する意識を高めるため、午後5時にチャイム、午後7時に時間を知らせる音楽を流した。
	効果 課題解決	退勤時間の見通しをもち、メリハリある中で業務を遂行することで、超過勤務の削減につながった。

○ 説明会の簡素化

1	取組内容	様々な説明会をオンデマンド化した。
	効果 課題解決	- 同じ説明会を複数回実施するための日時を調整する負担が減少した。 - いつでも何度でも視聴することが可能になり、説明会の効果が高まった。

○ SHR

1	取組内容	校時変更を行い、SHRを最終時限後に行うこととした。
	効果 課題解決	教職員による登校指導を午前8時30分以降に行えるようになり、時間に余裕ができた。

○ 通知表

1	取組内容	通知票の所見欄を廃止した。
	効果 課題解決	学期末に成績処理等の作業に集中することができ、成績処理の期限も余裕をもって設定できたことで、担任の負担軽減につながった。

○ 執務環境の整備

1	取組内容	職員室の配置替えを実施するとともに、不要物の廃棄や書類の整理整頓等も行った。
	効果 課題解決	打合せ等を効率的に行えるようになり、勤務時間の短縮につながった。